

- 平成30年1月末までに累計約64万 m^3 を中間貯蔵施設へ輸送済み。
- 平成30年度は180万 m^3 程度を輸送する予定。
- 引き続き、輸送対象物の全数管理、輸送車両の運行管理、環境モニタリング等を行い、安全かつ確実な輸送を実施。

＜輸送車両の管理機能の概要＞



＜輸送の様子＞



環境省作成

中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送については、平成30年1月末までに累計で約64万 m^3 の輸送を実施しました。平成30年度は180万 m^3 程度を輸送する予定です。

輸送車両は、GPSを用いてリアルタイムで以下のとおり運行管理しています。

- ① 積込場からの搬出時に、大型土のう袋等1個単位すべての積載物を輸送車両と結び付け、輸送車両とその積載物を一体で管理。
- ② 走行中の輸送車両の位置情報について、輸送車両に搭載するGPS車載器を用いて把握するとともに、システムに記録して地図データ上に表示し、その走行状況を監視。輸送車両の運行については、中間貯蔵施設で荷下ろし後、再度積込場に向かう空荷走行時の車両位置についても管理。

本資料への収録日：平成30年2月28日